

## 市民活動に関するアンケート調査結果

### 1 調査目的

「市民活動」は、私たち市民が、福祉や環境、子育て、文化、まちづくり、国際交流などさまざまな地域の問題の解決に、営利を目的としないで自分の意思で取り組む活動のことをいいます。

市民・営利企業・行政が協働し、「誰がやればうまくいくか」という考え方に立ってそれぞれが社会への貢献を果たす「新しい公共」の考え方の共有が必要とされるなか、「新しい公共」を担う分野として「市民活動」の期待が高まっています。

今回、皆さんに「市民活動」についての御意見を伺い、今後の施策の参考とするため、アンケートを実施いたしました。

### 2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の男女 100 人

内 訳：

性別	男性	女性
人数	42 人	58 人

年代別	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
人数	8 人	31 人	28 人	11 人	12 人	10 人

### 3 調査方法

インターネットによるアンケート調査

### 4 調査期間

平成 23 年 8 月 2 日（火）から平成 23 年 8 月 16 日（火）まで

### 5 回収件数

100 件（回収率 100%）

### 6 担当課

生活文化局 市民生活部 市民生活課

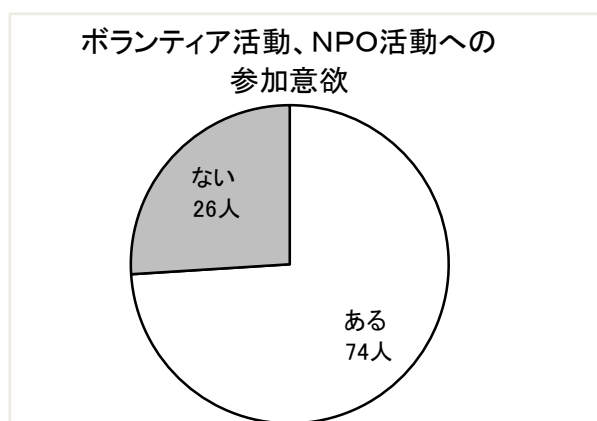
## 7 調査結果

問1 ボランティア活動、NPO活動に参加した、または、参加したいと思ったことはありますか。

選択肢	回答数
ある	74人
ない	26人

→ 問2へ

→ 補問1-1へ



年代別	人数		割合		計
	ある	ない	ある	ない	
20代	7	1	87.5%	12.5%	8
30代	21	10	67.7%	32.3%	31
40代	19	9	67.9%	32.1%	28
50代	9	2	81.8%	18.2%	11
60代	11	1	91.7%	8.3%	12
70代以上	7	3	70.0%	30.0%	10
計	74	26	74.0%	26.0%	100

### 【考察】

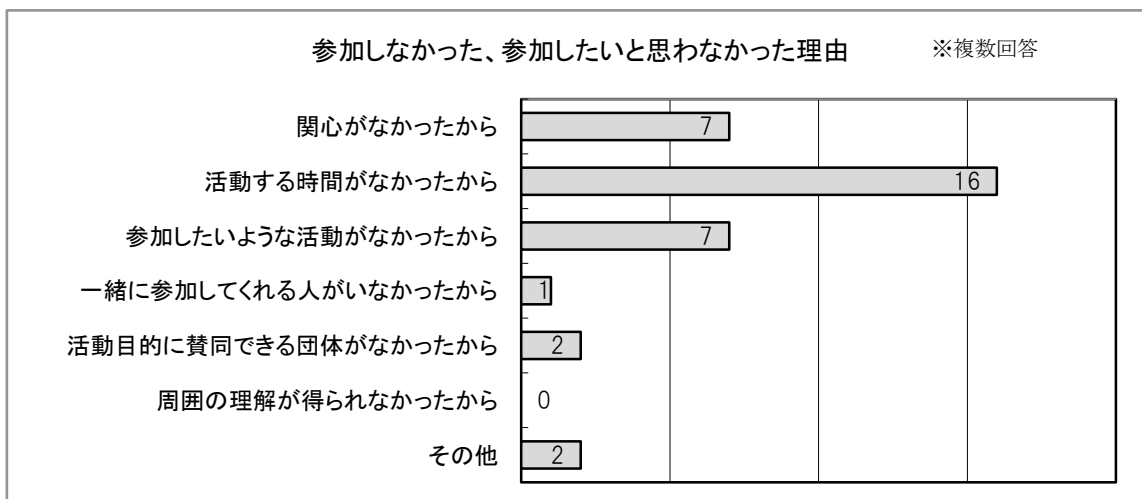
今回の調査では、100人中74人が“参加した、参加したいと思った”を選択している。内訳として、また割合で見ると、20代87.5%、60代91.7%に上り、若者と退職前後の年代において、参加意識が比較的高いことがわかる。

補問 1-1 参加しなかった、または、参加したいと思わなかった理由は何ですか。

(選択はいくつでも)

選択肢	回答数	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
①関心がなかったから	7		2	3	1		1
②活動する時間がなかったから	16	1	7	4	1	1	2
③参加したいような活動がなかったから	7		3	3			1
④一緒に参加してくれる人がいなかったから	1				1		
⑤活動目的に賛同できる団体がなかったから	2				1	1	
⑥周囲の理解が得られなかったから	0						
⑦その他	2			2			
計	35	1	12	12	4	2	4

その他自由意見欄：◎仕事が忙しく、休みが不定期ですごく疲れている。 など



【考察】

参加しなかった、したいと思わなかった理由のうち、約半数を“活動する時間がなかった”が占めており、市民活動に参加したくてもできない状況にあることがわかる。世代別でみると30代で7人が、また40代で4人が“活動する時間がなかったから”と回答しており、時間的余裕がないのは、30代、40代が中心となっている。また、参加したいような活動がなかった、活動目的に賛同できる団体がなかったが併せて9人あり、複数回答の意見として、3割弱を占めている。

問2 ボランティア活動やNPO活動が社会にとって必要だと思う理由はなんですか。  
 (選択は1つ)

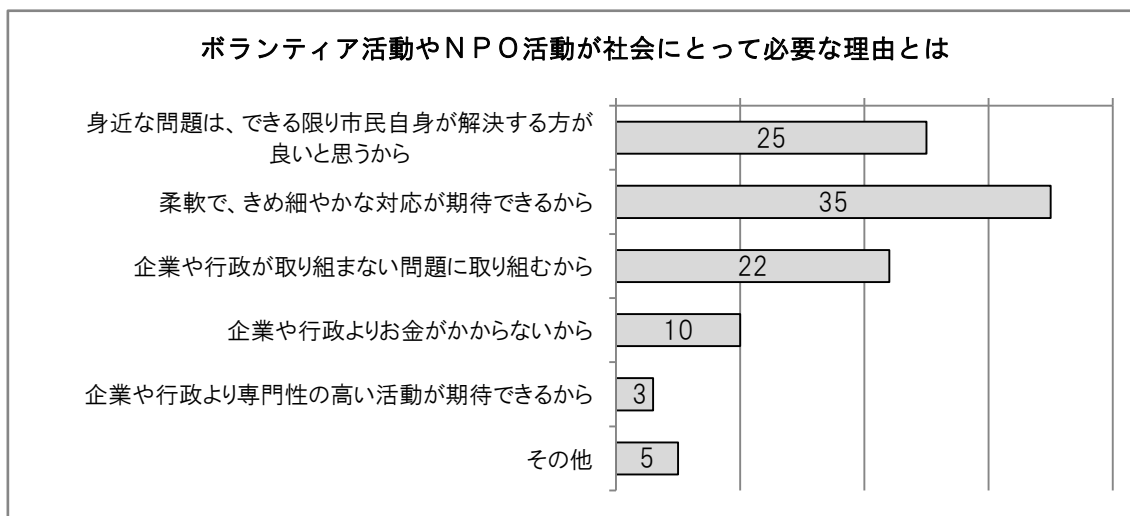
選択肢	回答数
身近な問題は、できる限り市民自身が解決する方が良いと思うから	25人
柔軟で、きめ細やかな対応が期待できるから	35人
企業や行政が取り組まない問題に取り組むから	22人
企業や行政よりお金がかからないから	10人
企業や行政より専門性の高い活動が期待できるから	3人
その他	5人

その他自由意見欄：◎強制ではなく、能動的な活動が期待できるため。

◎私の場合、生きがい、とか社会に対する恩返し。助け合いを通して、地域にかかわりが持てる。

◎個人個人の意識付けのため。

◎企業や行政が行うよりスピードが速いケースがあるから。 など

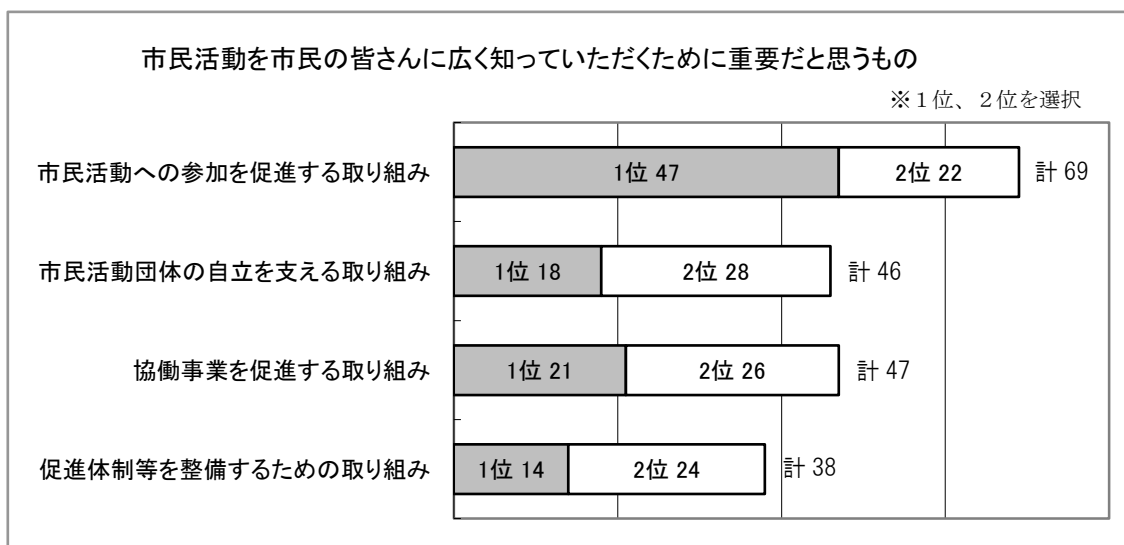


**【考 察】**

ボランティア活動やNPO活動などの市民活動が社会にとって必要な理由として、“柔軟で、きめ細やかな対応が期待できるから”が35人と最も多く、続いて、“身近な問題は、できる限り市民自身が解決する方が良いと思うから”が25人、“企業や行政が取り組まない問題に取り組むから”が22人と続いている。また、“企業や行政より専門性の高い活動が期待できるから”は3人であり、市民活動団体のもつ高い専門性については、あまり理解、重要視されていない。

問3 ボランティア活動やNPO活動などの市民活動を市民の皆さんに広く知っていただくために、重要だと思うものはなんですか。（上位2つを選んでください）

選択肢	1位	2位
市民活動への参加を推進する取り組み	47	22
市民活動団体の自立を支える取り組み	18	28
協働事業を促進する取り組み	21	26
促進体制等を整備するための取り組み	14	24



**【考 察】**

市民活動の担い手を増やす取り組みで“市民活動への参加を推進する取り組み”が1位47人、2位22人、計69人と最も多い。また、そのほかの選択肢は、ほぼ同数で選ばれている。

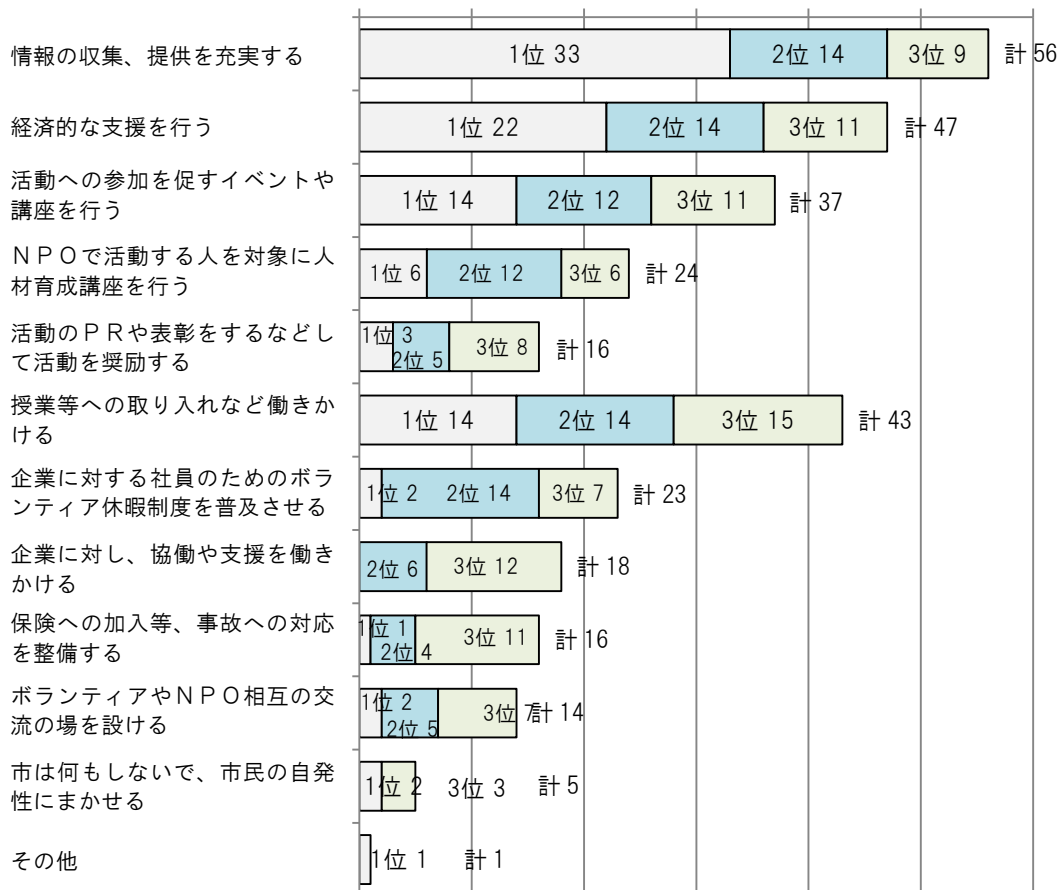
問4 ボランティア活動、NPO活動を市民の皆さんに広めるために、市にどのような支援策を望みますか。(上位3つを選んでください)

選択肢	1位	2位	3位
ボランティアやNPO情報の収集、提供を充実する	33	14	9
ボランティアやNPOなどに対して経済的な支援を行う	22	14	11
活動への参加を促すイベントや講座を行う	14	12	11
NPOで活動する人を対象にした人材育成講座を行う	6	12	6
活動のPRや表彰をするなどして活動を奨励する	3	5	8
教育機関に対し、授業の一部や課外活動として取り入れるなどの働きかけを行う	14	14	15
企業に対し、社員が活動に参加するための休暇制度を普及させる	2	14	7
企業に対し、NPOとの協働やNPOへの支援(寄附など)の働きかけを行う	0	6	12
ボランティア保険への加入など、事故への対応を整備する	1	4	11
ボランティアやNPO相互の交流の場を設ける	2	5	7
市は何もしないで、市民の自発性にまかせる	2	0	3
その他	1	0	0

その他自由意見：◎子育て支援活動をしています。人を集めるのがとても大変です。広報の情報は皆さんよく知っていて参加率もいいのですが、図書館などへの配布チラシだけですと、かなり人集めが大変です。せっかくいろんな団体が行っている素敵なイベントをより多くの方に知ってもらう為に広報などの配布物に折り込んでもいいので静岡市民団体イベント情報一覧のようなものをもっと垣根を低くして一緒に配布してもらえると絶対参加率はかわると思います。

ボランティア活動、NPO活動を市民に広めるための市の支援策は

※1位、2位、3位を選択

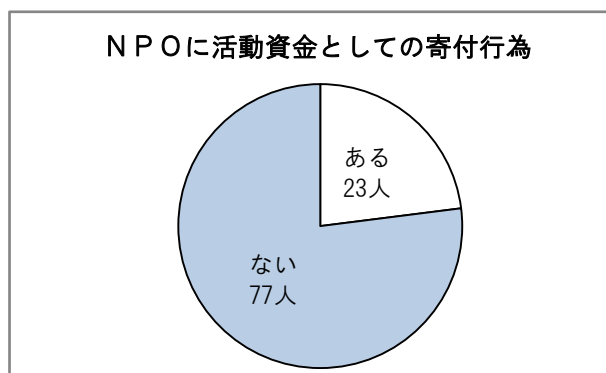


【考 察】

市民活動を市民に広める支援策として、“ボランティアやNPO情報の収集、提供を充実する”が1位の選択で33人、また1～3位の合計の選択数でも56人と最も多く選ばれている。2番目に選ばれたのは、“ボランティアやNPOなどに対して経済的な支援を行う”であり、1位の選択でも22人、1～3位の合計の選択数でも47人となっている。3番目として、“学校教育への取り入れ”が選ばれている。

問5 今までに、NPOに団体の活動資金としてお金を寄附したことはありますか。

選択肢	回答数
ある	23人
ない	77人



年代	回答数			計
	ある	ない	割合(ある)	
20代	1	7	12.5%	8
30代	3	28	9.7%	31
40代	8	20	28.6%	28
50代	3	8	27.3%	11
60代	6	6	50.0%	12
70代以上	2	8	20.0%	10
計	23	77	23.0%	100

【考 察】

NPOに対する寄附行為は、100人中23人が行っている。寄附したことがある人を年代別にみると、60代では、半数の50%において、寄附したことがあると回答している。しかし、60代以外の年齢、特に20代、30代においては低調になっている。

問6 どのようなNPOであれば寄附したいと考えますか。(選択は3つまで)

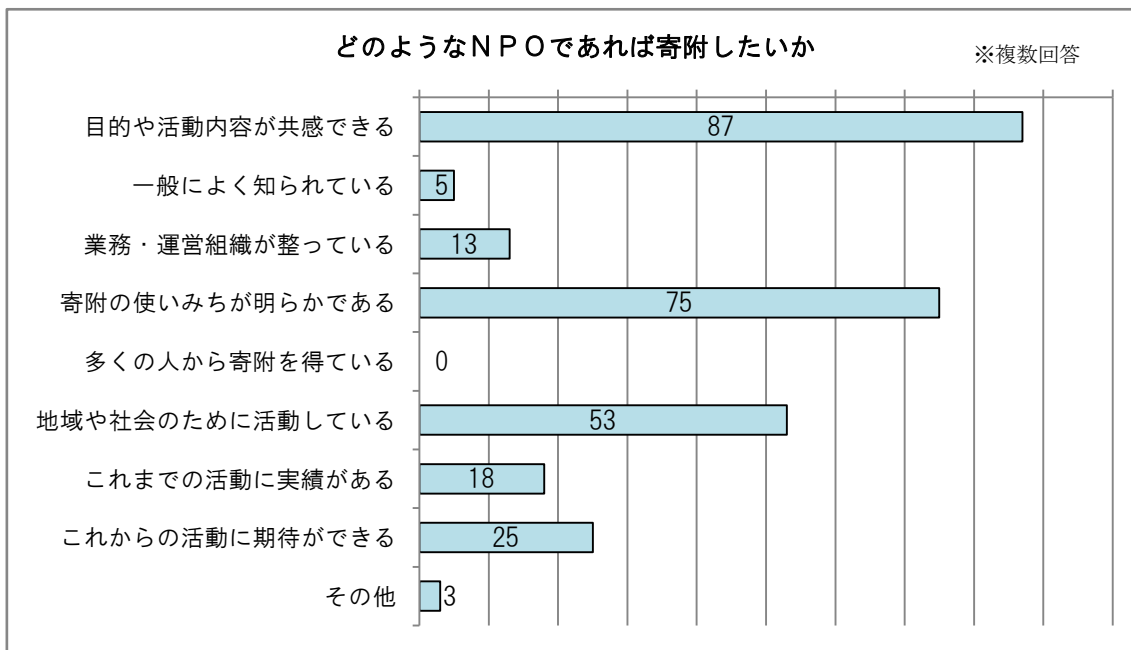
選択肢	回答数
目的や活動内容が共感できる	87
一般によく知られている	5
業務・運営組織が整っている	13
寄附の使いみちが明らかである	75
多くの人から寄附を得ている	0
地域や社会のために活動している	53
これまでの活動に実績がある	18
これからの活動に期待ができる	25
その他	3



その他自由意見欄：◎自分達が楽しめ、生活が楽しめる。それがいろんな人たちの力になる。そんな事だから寄附できる。

◎活動内容がシッカリ目に見えるNPO。

◎現時点では、寄附したいと思わない。余裕がない。

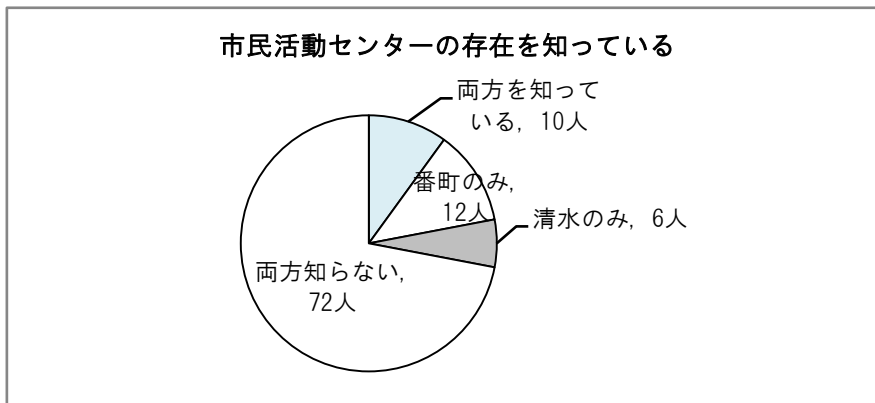


**【考 察】**

NPOに寄附するにあたり、選択基準として、最も多く選ばれたのは、NPOの“目的や活動内容に共感できる”で87人となっている。続いて“寄附の使いみちが明らかである”が75人、“地域や社会のために活動している”が53人となっている。反面、“一般によく知られている”が5人、“多くの人から寄附を得ている”は0人となっている。

問7 市民活動センターの存在を知っていますか。

選択肢		
両方を知っている	10人	} → 補問7-1
番町のみ	12人	
清水のみ	6人	
両方知らない	72人	→ 問8へ



**【考 察】**

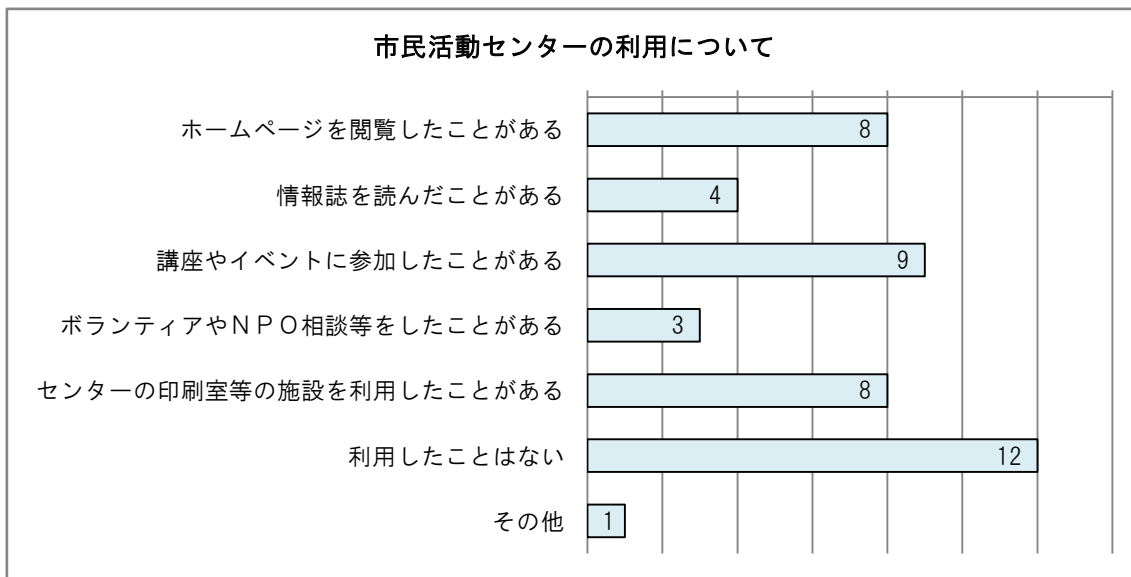
市民活動センターについては、番町市民活動センター、清水市民活動センターの両方を知らない人が72人で最も多く、番町市民活動センターのみが12人、清水市民活動センターのみが6人、両方を知っているが10人となった。

補問7-1 市民活動センターをどのように利用したことがありますか。

(選択はいくつでも)

選択肢	
市民活動センターのホームページの閲覧をしたことがある	8
市民活動センターの情報誌「パートナー」や「ばんたび」を読んだことがある	4
市民活動センターを会場とした講座やイベントに参加したことがある	9
ボランティアやNPOに関する問合せや相談をしたことがある	3
オープンスペース、貸し会議室、ミニオフィス、印刷室などの機能を利用したことがある	8
存在を知っているだけで利用したことはない	12
その他	1

その他自由意見欄：◎番町はとても使いやすい、よいセンターです。



**【考 察】**

市民活動センターの利用については、問7でセンターの存在を知っている人28人のうち、12人は、“利用したことはない”となっている。また、実際に利用している人16人のうち、“市民活動センターを会場とした講座やイベントに参加したことがある”が9人、“オープンスペース、貸し会議室、ミニオフィス、印刷室などの機能を利用したことがある”8人、“市民活動センターのホームページの閲覧をしたことがある”が8人となっている。市民全体からではあまり認知されていないことがわかる。

問8 市民活動に対する意見、要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

■広報について（市からの市民活動の情報発信など広報に関する意見）【20件】

普段知られていないような活動も多いかと思います。専門誌等を作成するのもいいかと思いますが、一般誌（広報やHP、新聞等）に載せたほうがより認知しやすいかと思います。

市民活動についてあまり知る機会が無い。もっとわかりやすくPRしたほうが良いと思います。

市民活動センターがどこにあるか知りませんでした。

あまり関心がなかった。でも市民が自発的に活動することは市をよりよい街にしていけるし、そのためにも市民一人一人が街の事にも関心を寄せていけたらいいと思う。

静岡市がどのような分野のNPOに対して、積極的に支援を行っているのかわからないので、そのことの広報活動も必要ではないでしょうか。

どこでどのような活動が行われているのかを一般市民に知らせる方法が重要と考えます。

市民活動の存在を知らなくて申し訳ないと思いました。みんなの団結力が必要とされる今、大勢の方にその存在等を広めてほしいです！

正直、あまり活動の様子がわからないことが多いので、広報紙などに載せてもらえれば知ることができると思う。

---

私は“しずおか大道芸のまちをつくる会”というNPOに会員として在籍しており、以前はこの会の実働メンバーでした。NPOにとって、資金の問題＝活動の大きさ（小ささ）という形で直結することを強く感じました。せっかくよい志を持っていても、この資金問題でいろんなことをあきらめなければならない、といったらわかりやすいかもしれません。ですから、少しでも年間の助成金をNPO団体の規模に応じてしてくださると、市との連携も強固になり、よろしいのではないかと思います。（もちろん、助成に値するかの基準を定め、責任者などと面談するなどしたほうが良いのはいうまでもありません。）

「こういうNPO団体があるんです」という記事を“静岡気分”に載せることも一つではないでしょうか？

---

町内会、趣味の集まりから活動の拠点がスタートしていくと思うので、全国で地震多発の現在、助け合いがとても大切な事を実感しているので活動にも目を向けていければと思います。

---

もっと情報を提供、公開したほうが良いと思う。広報紙や回覧板などで。

---

多くの情報がほしいです。

---

自ら行動していませんが、NPOの活動を知る機会がないです。静岡市にどのような団体があり、どのような活動をしているのか？また、活動費はどのようにしているのか？市の補助制度はどうなっているのか？知る機会を設けてほしいです。

---

情報提供を充実してほしいと思います。市報やポスターだけではどうしても見逃してしまうことも多いので、ラジオやテレビを使うのも一つの手だと思います。

---

今、東日本大震災で、日本中でボランティア活動やNPO活動が凄く注目されている。静岡県も東海地震が長い間叫ばれているが、まだまだ意識や行動が鈍い。市民への啓蒙や働きかけが弱く、理解されていない面もある。

---

特にありません！PRが不足しているように思われました！

---

「知られていない」ことが、一番の弱みになってしまうと思う。市の広報等だけでなく、TVのCMや、ケータイ等のメール、ウェブサイトやバナー等で知らせられるようにすると、より広まると思われる。（たとえば「市民活動センターについて」など）NPOの活動を支援するならば、広告費用を市がある程度負担できると、効果が大きいように思われる。

---

4歳の双子がいますが、NPO法人主催のイベントや勉強会など、広告や知人の紹介などで知り、興味があるものには参加させていただいています。料金も手頃だったり、細やかな対応など、子育て支援には良い影響を及ぼすものも多数あると思っています。ただ、いつどこで開催しているか知る手段が少ないのと、少人数制なので応募しても当たらないことは多々あるかと思うので、広報の後ろに載せる欄を作るとか、一回の人数は少なくても、何回か開催できるように金銭的支援をするのも良いのではないかと思います。ただ、イベントに参加しても、運営に関することはほとんど知りませんでした。活動資金がどうなっているかなど、イベント開催時に少しだけ説明するのも良いのではないかと思います。

---

まだ、あまり知られていない分野だと思います。組織の紹介や活動内容・参加方法などが、一目でわかるものがあれば、良いと思います。

---

市民活動の必要性はわかるが、我々にいったい何ができるのかその入り口が不明。市民への啓蒙活動がなお一層必要であると思われる。

---

---

### ■ 広報と参加促進について【3件】

(市からの市民活動の情報発信などの広報や参加促進に関する意見)

ボランティアの情報提供を更新し、身近にボランティアが出来る環境作りをしてほしいと思います。また、活動中の団体には、特徴や活動写真を出来る限り掲載し、皆さんに関心を高めてほしいです。

子育てがひと段落したら、ボランティア活動に積極的に参加できたら良いと考えていますが、いったいどんなボランティア団体があるのか不明です。なにか参考にできるホームページとかあるのでしょうか。拘束されず、本当の意味で自由参加の要請があれば、いつでも参加したいと思う。一人の力ではどうにもならないことが多いので、是非地域や社会のために活動してほしい。

---

---

### ■ 参加促進について（市民活動への参加の促進に関する意見）【13件】

小さなことでも、少しでも、人のお役に立ちたい気持ちはありますが、何をしたらよいかかわからない人が大勢いると思います。身近に窓口があれば、活動がもっと広がると思います。

私は災害時通訳ボランティア（韓国語）に登録していますが、幸い出番がありません。このほかにも自分の専門性を生かすことができるものをもっています。市民活動センターも訪問してどんなものがあるのか聞いてみたいと思います。気楽にお話しできる所であれば良いと思います。

私を含めて多くの人にはなかなか市民活動に入るきっかけがないのが現状ではないでしょうか。学生や現役で働いている時から、使える時間は少なくとも、また、他動的ではあっても、市民活動を経験することが大事ではないでしょうか。まったく経験がない場合は、退職後には多くの時間があっても躊躇してしまうことが多いと思います。

地域の町内会をもっと活用しながら市民に理解していただき参加しやすい環境が必要である。

地域におけるボランティア活動は、大切なことと思いますが活動に参加するきっかけをつくるのがなかなか難しい。行政やNPOの積極的な取り組みが求められると思います。

市民活動には、今現在は何もしていなくても、私も含めて興味や、関心を持っている人はいると思います。ただ、初めの一步を踏み出す事に、躊躇してしまいます。何故なら、いざ、参加してみたら、家庭や仕事との両立が大変で有ったり、求められている程の能力が自分には無いかもしれないと、考えてしまったりするからです。もっと気軽に参加出来るような仕組みがあればと思います。

多くの人が社会活動に参加したいという気持ちがあると思うのですが、参加するきっかけが無かったり、敷居が高く感じたりすることであると考えます。まずは気楽に市民活動に参加できるような雰囲気づくりへの支援が必要ではないでしょうか。

何かをやりたいと思っている人は多いと思う。その機会が与えられれば、たくさんの人が地域社会のための活動をするのではないかと思う。でも残念ながら、そのやり方が分からないし、どうして良いか分からないのが実情だ。その「ハウツー」の情報がほしいと思います。

市民活動が重要なことは理解できるのであるが、いざ自分が行動すると実行できない。これが私の現状であるが、同じような人は結構沢山居ることと思う。この壁をどうしたら破って行動に移れるか、今の

---

---

ところ自分自身でも解決できない。自分が実際に災害などに遭遇して、厳しい状況を体験しないとこの壁は越えられないかも知れない。

---

誰でもがボランティア活動を気軽に行えるような社会を作る事が必要だと思います。

---

興味はあるものの、敷居が高いです。もっと間口をとにかく広めてほしい。

---

清水七夕祭りで折り鶴の会の活動を知り、今年の七夕祭りでは微力ながら協力することができました。お祭りで自分の参加が形になって見えたことがとてもうれしかったです。すこしでも参加しやすい体系を作ることが重要かと思いました。

---

学生の参加を促進するような方策が必要と思う。

---

---

#### ■ 広報と活動支援について【2件】

(市からの市民活動の情報発信などの広報や活動支援に関する意見)

---

ポケットティッシュを配るような、行政がよくやるメリットのあまりない広報活動ではなく、広く一般に知りわたるような広報活動を行うべき。ただし、団体が自主的に行うものを資金面でバックアップができるだけ簡素化した手続きで行えるようにしたらどうでしょうか。ただし監査は必要。

---

第一に活動資金が足りないこと(私たちの団体)。活動内容を大勢の人に知ってもらい、出来ることなら協力と参加を呼びかけたい。行政が一層の支援・応援を期待したいと思います。

---

---

#### ■ 活動支援について(市民活動への活動支援に関する意見)【3件】

---

子どもの習い事の父兄会で番町市民活動センターを利用させて頂いたことが数回あります。経費的にも格安でお貸し頂けたようで助かりました。もっと市内のいろいろな場所に作って頂きたいです!!

---

静岡市に1年以内に転入してきた子育てサークルの代表を務めています。防災、生活、地理など静岡のことを知るために情報を提供していただけると助かります。各種窓口や相談できる場所があれば教えてほしいです。

---

NPO法人に対しての資金助成をさらに充実させていただきたいです。(NPO法人の関係者としての意見) 2011/8/2

---

---

#### ■ 学校教育への取り入れについて(市民活動を学校教育に取り入れに関する意見)【2件】

---

奉仕活動・ボランティア活動・NPO活動の違いを明確にするべき。その上で、小中学校で奉仕精神を学ぶ時間(道徳)をしっかりとることが、遠回りのようでもあるが将来のボランティアやNPO参加に繋がると思う。

---

大人に限定せず子供も参加できるものを提供して学校活動でどんどん取り入れてほしいと思います。それを当たり前とした子供たちが成長してくれば、他人を思いやることができる、明るい未来に期待できるのではないのでしょうか?

---

---

**■情報公開について（市民活動団体からの情報公開に関する意見）【3件】**

---

市からの助成金などある場合にはどのように使われたか、わかるように公開してほしい。

---

どんな事業をしているのかが分かりづらいと思います。みんな頑張っていると思うので残念だと思います。

---

活き生きネットワークに登録していますがいままで何の活動の機会もありません。このような活動も他にあるのではないのでしょうか。

---

---

**■企業の理解協力について【2件】**

---

ボランティア活動に企業が理解や協力をしてもらえるように条例などの整備をしてほしい

---

仕事をしている方は平日の活動が制限されてしまいます。企業の理解を得て休暇等の制度を導入してくれればと思います。

---

---

**■協働事業に関する意見【2件】**

---

パイロット市場の選考基準が保守的過ぎる。点数をつけた各委員の具体的な点数の詳細もしっかり出すべき。落ちた団体が次に活かさない。

---

市民にとって必要な活動を行政や民間委託で行うには費用的な面で限界があるかと思います。市民の共同で対処する部分を増やしていくべきだと思います。

---

---

**■連携について（市民活動団体同士や県、市の連携に関する意見）【2件】**

---

自分も市民活動をしています。経済的な援助が欲しいと思いますが、熱意だけで動いてあまり経済的援助を求めるのが得意ではありません。いろんな団体が繋がりあって、良いところを協力できるよう、交流会や一堂に会するようなことがあると良いと思います。

---

県にも活動センターがあります。県と市で協力体制を強固にすべきです。

---

---

**■顕彰について（ボランティア活動への顕彰に関する意見）【1件】**

---

ボランティアで、公的な会場受付業務などしていますが、保険加入は、していないのかな…と今回のアンケートで不安になりました。義務づけはないですよね。ボランティア＝無料の労働力、と思うのか、感謝の言葉がないので、表彰などがあると良いと思います。

---

---

## ■その他【10件】

---

一括窓口が欲しいです。その部門を通してその部門が内部の部門とやりとりしてくれたり、紹介してくれたり。とにかく、たらいまわしが本当に大変で、途中でやめたくなくなってしまいます。できれば、体育館の借り方や生涯学習センターの借り方など他部門にわかれている〇〇のやり方を一括してしることができたり、静岡市民で使用できる会場や野外の場所の一覧が載っている冊子が欲しいです。いつも、みんなが知っているウワサ話から一生懸命問い合わせる場所を増やしていています。あと、子育て中のことに関してで申し訳ないのですが子供をつれて役所に行くのがとても大変。通路スペースもせまいし、トイレもベビーカーがはいらないし、子供トイレもない。授乳もできないと昔言われわざわざ伊勢丹に行きました・・・とても母親が子供をつれて手続きにいけるような雰囲気ではなく、苦労しています。相談に行ったときには、県立美術館のように一時保育があったら良いのに！！なんて夢みたいなことまで考えてしまいますが、普通にいろいろな申請に来た子連れの方の為に、もう少し設備を整えてもらえると嬉しいです。

---

自分自身の事でいっぱい、気持ちはあっても行動が難しい現実は悲しい。

---

静岡市が活発になるような活動を自主的にやってくれることはうれしい。

---

知らない事が多かったので自分でも調べてみようと思いました。

---

市民活動は地域の人達や、自発的に参加している方達も多くいます。川のゴミも川でバーベキューをしている人が、自分達のゴミを捨てて行きます。藁科川も多くのゴミが散乱して、地元の方達の悩みの問題です。マナーの無い人が当たり前のようにゴミを捨て、地元で生活している方がゴミ拾いをする事もおかしな事です。川を守る事の重要性を知ってほしいです。年々川のゴミも増えています。行政で川の使用料を検討する事も必要だと感じます。

---

「しぞーかでん伝体操」は初めて拝聴しました。ゆっくりとした動きで無理なく運動ができそうで良いですね。私にはちょっと物足りない感じですが、両親に勧めてみようと思います。これからも今以上に色々な情報発信ができるようになることを望みます。

---

まったく存じませんでした。結構、幅広く活動されていたのには驚きました。

---

NPOはイメージ的にあまり良い印象がない。具体的にこれと言った理由があるわけではないが・・・。特に規模の大きいNPO法人は天下りのイメージが大きい。

---

まちづくりについて、アイデアなど気軽に話せたりするところがありますか。教えてください。

---

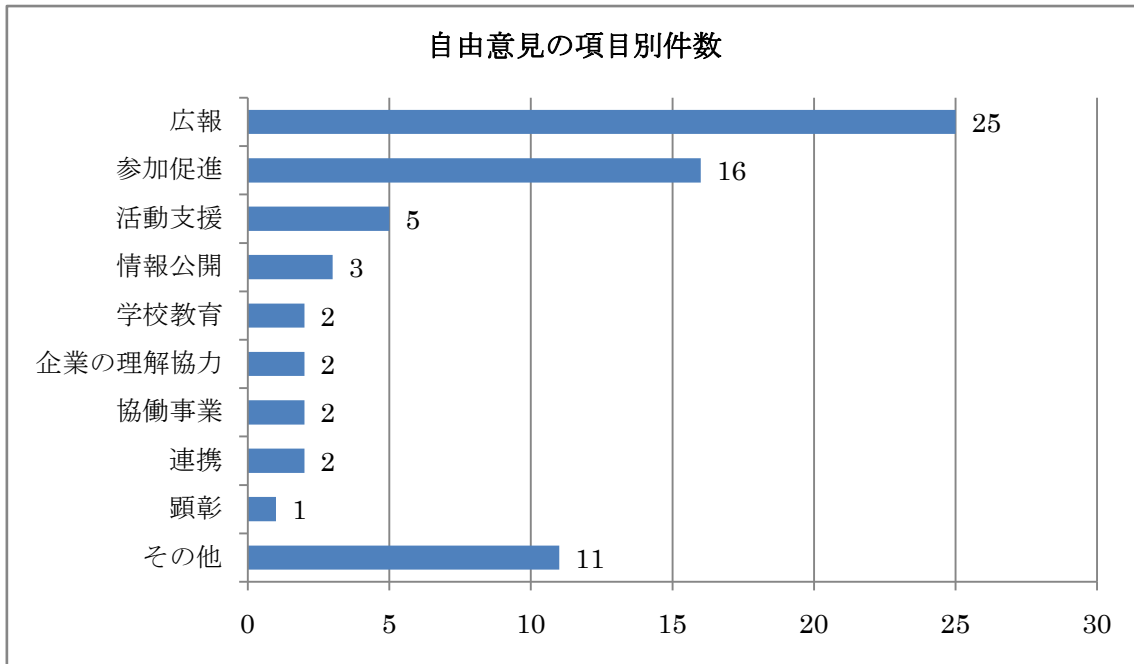
NPO団体の数も多くなってきました。しかし、しっかり行われている団体ばかりではありません。ボランティア活動をしている皆さんには頭が下がります。

---

河川の清掃や空いている土手の草刈り等をしたとき、かなりのゴミがでます、清掃局への連絡を簡素化して、一人や二人程度でやった時も早く対応してほしい。

---





※自由意見の項目は、市民生活課にて意見内容を確認し独自に分類した、意見内容が複数の項目になったものはそれぞれカウントした。

## 8 総括

アンケートの結果では、若者と定年退職を迎えた世代に市民のボランティア活動やNPO活動などの市民活動への参加する意欲が高い。また、市民活動には、「柔軟で、きめ細やかな対応」を期待しており、その市民活動を市民に広めるには、市からの情報提供、経済的な支援と併せて、学校教育などの授業へ市民活動の取り入れの働きかけを求めている。

NPOへの寄附では、「そのNPOの目的や活動内容が共感できると寄附の使いみちが明らかである」が多く、市民ニーズを的確に捉えて、寄附金の用途を明確に情報公開できるNPOを選択することがわかった。

また、市民活動センターの認知度が低いということ明らかになった。市民活動の場として多機能を持つ市民活動センターを市民に知っていただく必要性を実感することができた。

市民活動を広めるために必要な市の支援策として「ボランティアやNPO情報の収集、提供を充実する」が最も多く、自由意見でも、市からの情報発信など「広報」を期待する意見が最も多かった。これにより、多くの市民が地域のために活動する市民活動団体の情報を求めていることがわかった。

これらの市民意見を踏まえ、市民活動の促進に関する基本的な考え方と施策を定める第2次市民活動促進基本計画の策定や、市民活動の促進施策の資料とし、市民都市静岡市の実現に向けて活用していきたい。